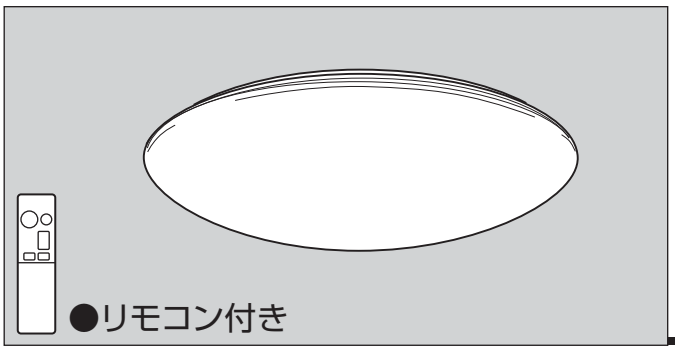
保管用

施工説明付き

保証書別添付

Panasonic®

取扱説明書



住宅用照明器具
（シーリングライト）

品番 **LGC2110V**
LGC3110V
LGC4110V
LGC5110V

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」（2～3ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

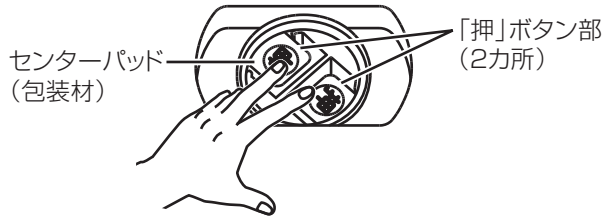
工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。
■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工前に必ず器具を底板（包装材）から取り外してください。

器具を底板から取り外す方法

①器具のカバーを外す
☞5ページ「カバーの外しかた」参照
②器具中心部のセンターパッド（包装材）の「押」ボタン部（2カ所）を押しながら本体を持ち上げる



もくじ

安全上のご注意 …… 2
各部のなまえと付属部品 …… 3
照明器具を取り付ける …… 4
照明器具を取り外す …… 5
各部のはたらき …… 6
あかりをつける …… 7
リモコンの便利な使いかた …… 8
故障かな?と思ったら …… 9
お手入れについて …… 9
ご使用上に関するお知らせ …… 裏表紙
仕様 …… 裏表紙
保証とアフターサービス …… 裏表紙

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

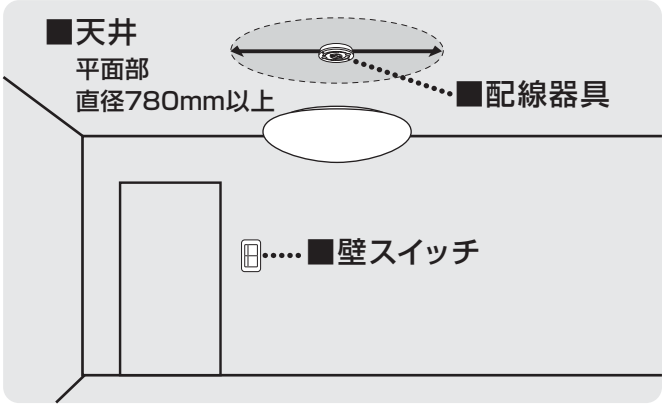
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告



■天井

必ず守る

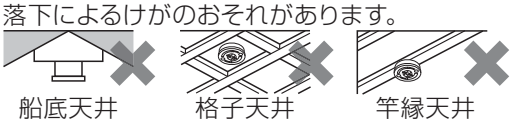
●必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける

落下によるけがのおそれがあります。

禁止

●凹凸のある場所に取り付けない

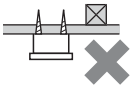
落下によるけがのおそれがあります。



船底天井　格子天井　竿縁天井

◎アダプタ（別売：品番HK9004）を使用した場合は、竿縁天井に取り付けできます。詳細はアダプタの取扱説明書をご参照ください。

●補強のない場所（ベニヤ板や石こうボードなど）に取り付けない



落下によるけがのおそれがあります。

●傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

◎傾斜天井用アダプタ（別売：品番HK9049）を使用した場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。詳細は傾斜天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

■配線器具

禁止

●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

がたつき・破損

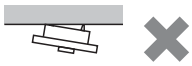
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの

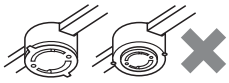
ローゼット10mm未満　引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの

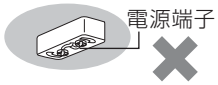


シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ

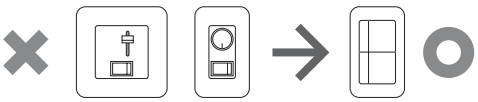


■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（取り外しには資格が必要です。）

■その他

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る

●アダプタは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」
(保証書内在中) に基づき、自主点検
してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因と
なることがあります。

●カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから
行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や
屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間
直視しない

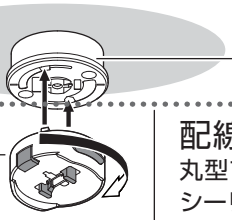
目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

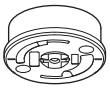
本体取り付け用付属部品



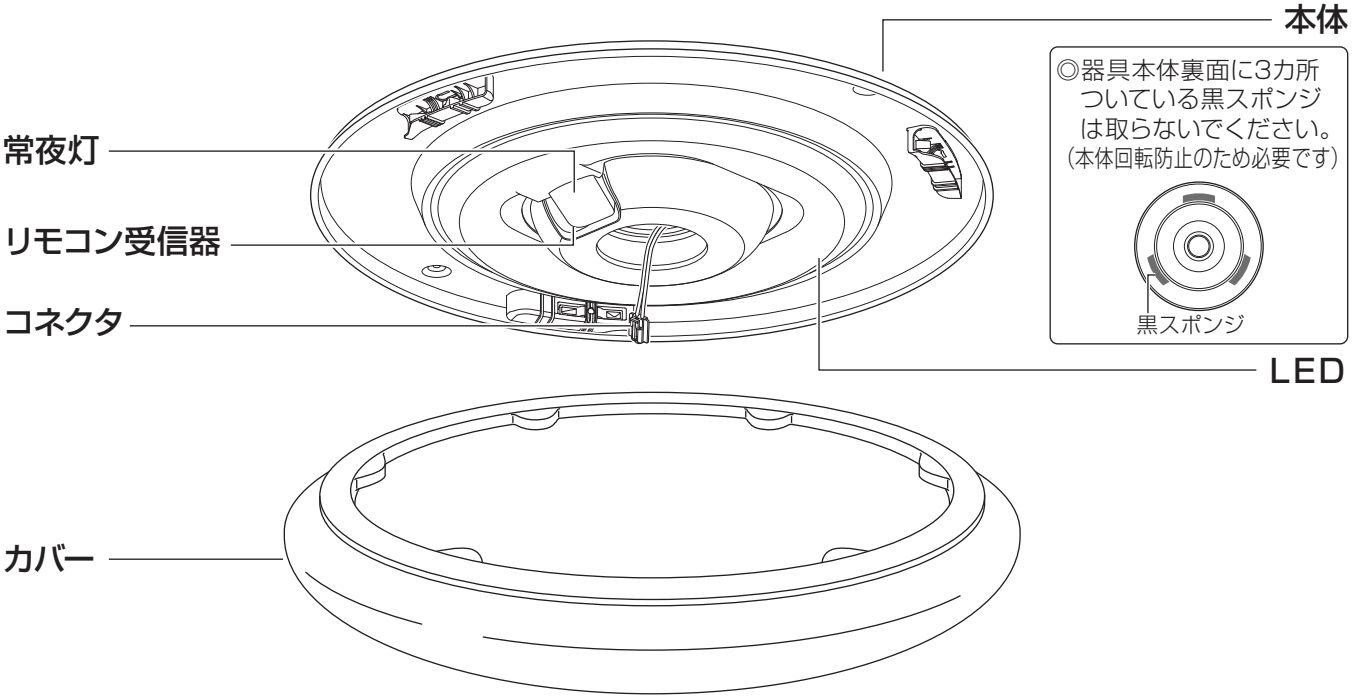
アダプタ (1個)

補修品番NZ2717M

配線器具
丸型フル引掛
シーリング(1個)



引掛シーリング用
木ネジ (2本)



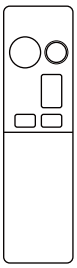
◎器具本体裏面に3カ所
ついている黒スポンジ
は取らないでください。
(本体回転防止のため必要です)

リモコン付属部品

リモコン
(1個)

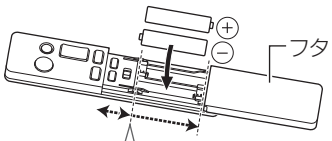
補修品番
HK9494MM

操作方法は、
6~8ページ
参照



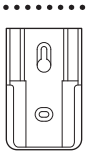
単4形
乾電池
(2本)

●リモコンのフタを開けて、
単4形乾電池を2本入れる。



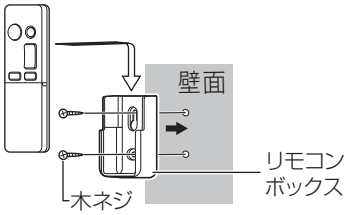
フタは、2度引く
チャンネルボタンの下でいったん止まり
ますので、もう1度引いてください。

リモコン
ボックス
(1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ (2本)

●リモコンボックスを使用して、
紛失防止用に壁掛け収納できます。



照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。 ☞ 裏表紙「ご使用上に関するお知らせ」参照

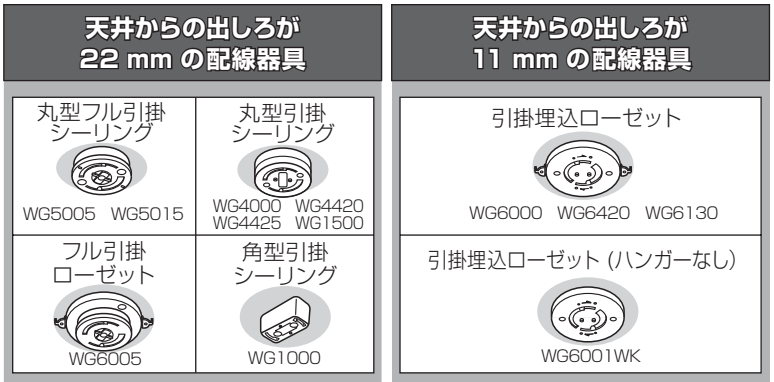
1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2 の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎ローゼットへの取り付けで取付金具（ハンガー）部に既設器具などのネジが付いてる場合は取り外してください。
◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。
◎工事には資格が必要です。

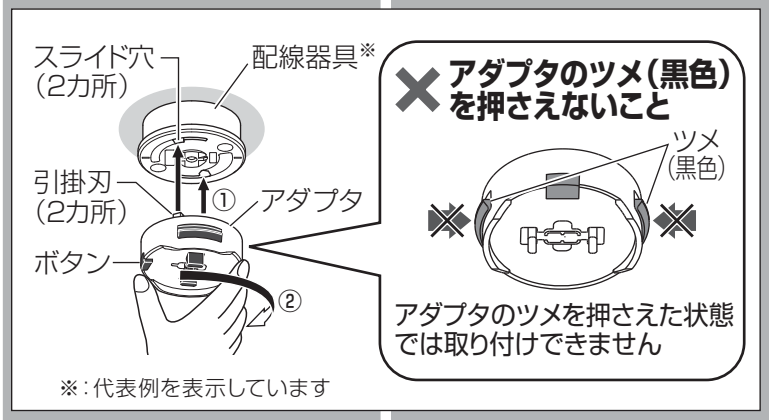


2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる
引掛刃（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる

②**カチッ**と音がするまで
アダプタを右に回して取り付ける

確認　**ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する**



警告	アダプタは確実に取り付ける 落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

①**本体中心にセンターパッドが取り付いていないか確認する**
→取り付いている場合は、取り外す
☞ 表紙「器具を底板から取り外す方法」参照

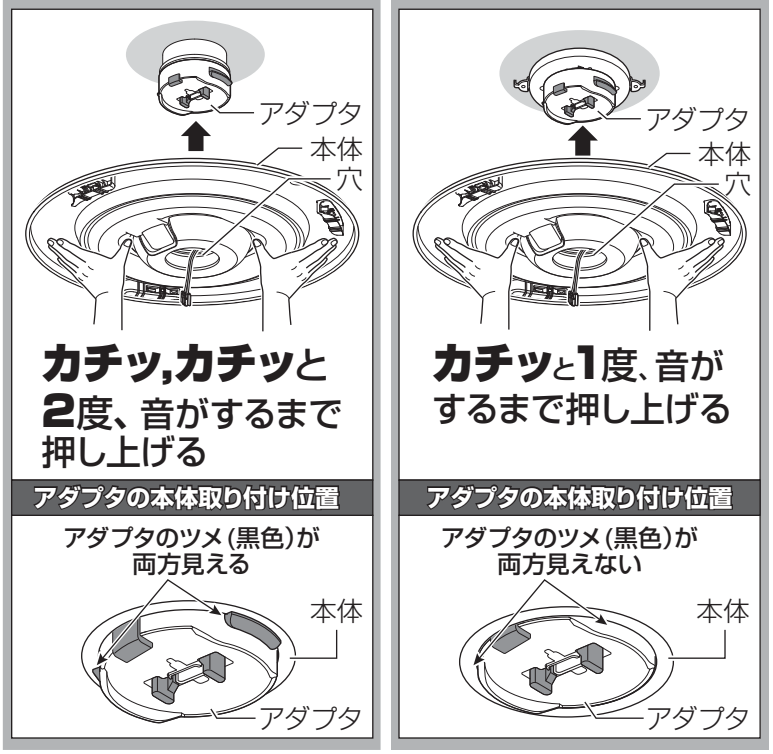
②**アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる**

◎配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。
◎本体を水平にし、均等に押し上げてください。
◎器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

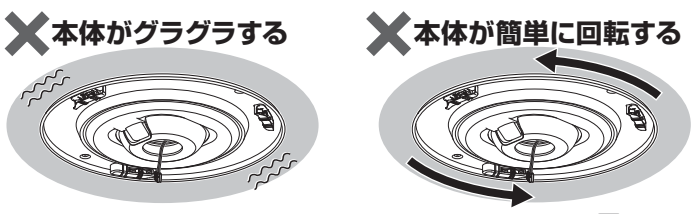
本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) **アダプタを外す**
☞ 次ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照
(2) **再度、手順 2 を行う**

警告	本体は確実に取り付ける 破損して感電のおそれがあります。



4 本体が正しく取り付けられているか確認する

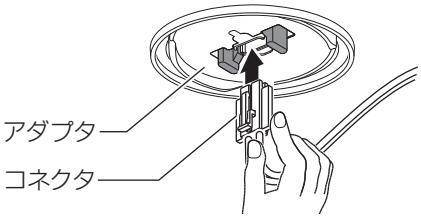
本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する



上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

5 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタをアダプタに
確実に差し込む



確認

●コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順 3 に戻る。
●引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
●本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（☞下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照）本体を押し上げる（☞前ページ手順 3 参照）

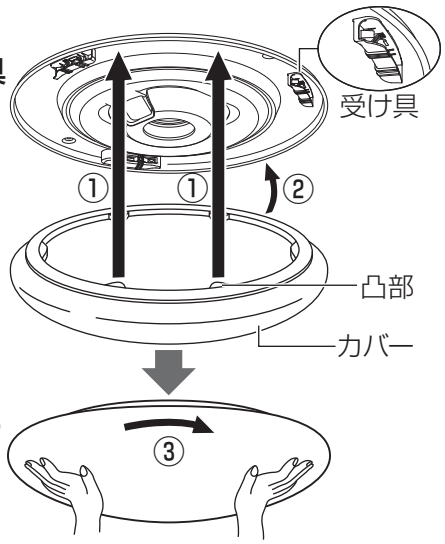
6 カバーを取り付ける

① カバーの凸部2カ所を本体の受け具と受け具の間に合わせる

② カバーを持ち上げる

③ カバーを回転が止まるまで右に回す
（回転角度は、最大で約50度）

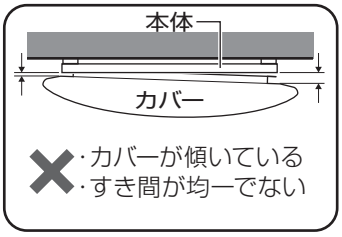
④ カバーが右に回転しないことを確認する



確認

●カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す ☞下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照
(2) 本体を押し上げる ☞前ページ 手順 3 参照
(3) コネクタを差し込む ☞上記 手順 5 参照
(4) 再度、手順 6 を行う

●カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、**カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。**
カバーを左に回して外し、再度、手順 6 を行う



⚠ 警告

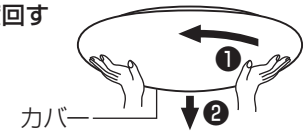
本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注意

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

❶カバーを左に約20度回す
❷カバーを外す



確認

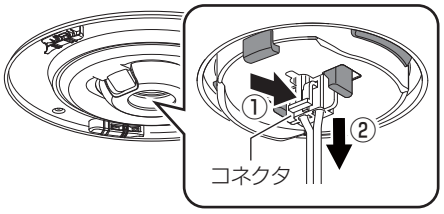
カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し本体を正しく取り付ける
☞左記 確認 手順(1)〜(3)参照

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

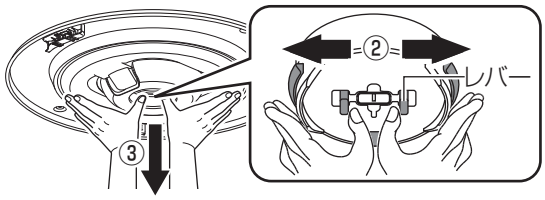
1 コネクタを外す

①つまみながら
②引いて、外す



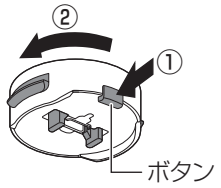
2 本体を外す

①本体が落ちないようにしっかりと支え
②レバーを矢印の方向（左右）に広げたまま
③本体をゆっくりと下げて、外す



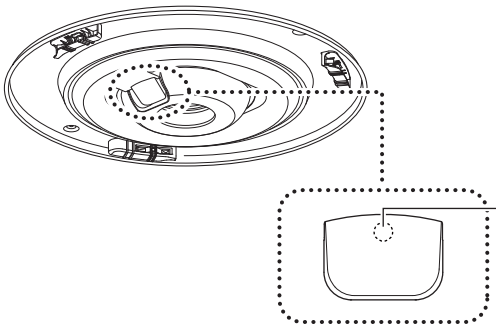
3 アダプタを外す

①ボタンを押しながら
②左に回す



各部のはたらき

リモコン受信器（本体）



リモコン受信部

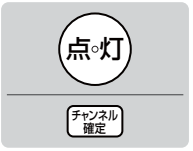
リモコンからの信号を受けます。傷つけたり、汚したりしないでください。

■リモコン操作時の音を消す方法

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1

リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向ける

2 

リモコンの「点灯ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

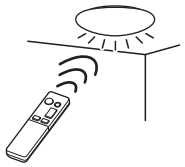
メモ

リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

リモコン

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。

点灯ボタン

LEDが明暗ボタンで調節した明るさで点灯
（初期設定:温白色3500K※、明るさ約70%）
☞ 7ページ「あかりを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが温白色3500K※、明るさ100%で点灯
☞ 7ページ「あかりを切り替える」参照

おやすみタイマーボタン

☞ 8ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

チャンネルスイッチ

操作する器具のチャンネル（1～3）を設定
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

消灯ボタン

明暗ボタン

LED（100%～約5%）、常夜灯（6段階）の明るさを調節
☞ 7ページ「あかりを切り替える」参照
「常夜灯を点灯する」参照

常夜灯ボタン（蓄光）

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯
（初期設定:明るさ100%）
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 7ページ「常夜灯を点灯する」参照

チャンネル確定ボタン

チャンネル（1～3）の設定を確定
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。

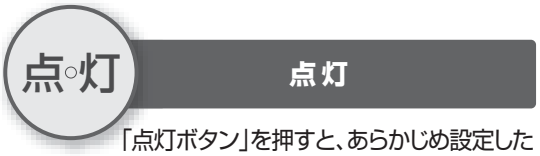
※: K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

あかりをつける

あかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンの「点灯ボタン」、「全灯ボタン」であかりの切り替えができます。
リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節できます。



「点灯ボタン」を押すと、あらかじめ設定した明るさで点灯
（初期設定:温白色3500K※、明るさ約70%）

「全灯ボタン」を押すと、温白色3500K※、明るさ100%で点灯

※: K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

■LEDを調光して記憶させる

LED点灯中に調光操作を行うと、その明るさを「点灯ボタン」に記憶します。

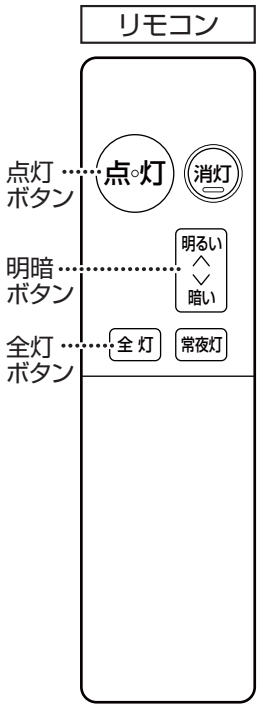
1 点灯 / 全灯 **リモコンの「点灯」、「全灯」のいずれかのボタンを押しLEDを点灯させる**

2 明るい ∧ ∨ 暗い **リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する**

➡記憶

メモ

- LEDの明るさを調節すると、その都度記憶します。
- 「全灯ボタン」を押して明るさを調節した場合も「点灯ボタン」に記憶します。



常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

1 常夜灯 **リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる**

2 明るい ∧ ∨ 暗い **リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する**

➡記憶

メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。

壁スイッチで照明器具を操作する

■ 点灯・消灯する

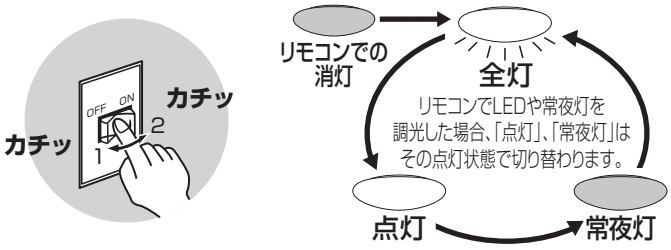
前回の「明るさ」で点灯します

現在（消す直前）の「明るさ」を記憶して消灯します

- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

■ 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約1秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



- 壁スイッチ１個で２台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

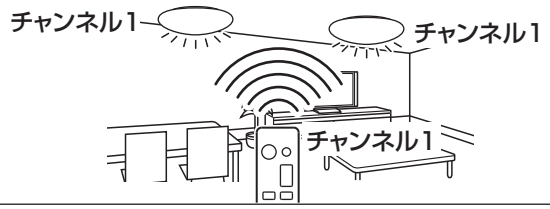
リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます

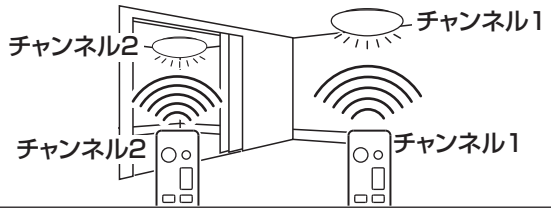
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。
◎器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例)一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



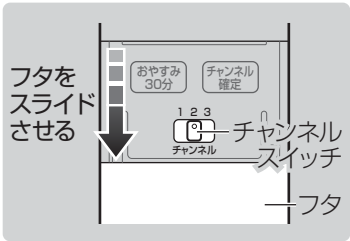
●近くの器具を別々に点灯できます。
(例)隣室にもリモコン照明器具がある場合



① 壁スイッチ ON

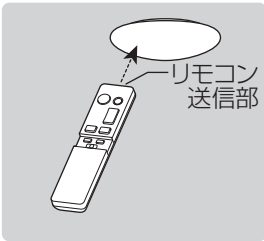
チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)

② フタをスライドさせる



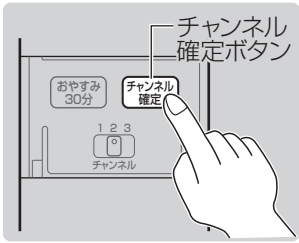
リモコンのフタをスライドさせて「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネル(チャンネル1～3)に合わせる(例：チャンネル2)

③



リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて

④



リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

メモ

本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

※1:周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーをONにすると、30分後に自動消灯を行います。

■おやすみタイマーをOFF／ONにする

おやすみ 30分

リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向け、リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押す

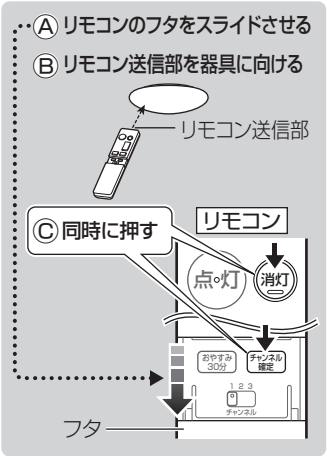
ON(30分後消灯)	→	OFF
「ピッ」と音がする		「ピーッ」と音がする

押すごとに切り替わります。

メモ

●リモコンでの消灯時でも、「おやすみタイマー」は、ONされます。(壁スイッチがOFFの場合は、「おやすみタイマー」はONされません。)
「おやすみタイマー」がONのままで点灯させた場合、「おやすみタイマー」をONにした30分後に消灯します。

故障かな？と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
本体が取り付かない	アダプタが正しく取り付いていない	①アダプタを外し ②再度、アダプタを取り付ける	5ページ 3 4ページ 2
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、 ②本体を押し上げてから ③コネクタを再度、差し込む	5ページ 1 4ページ 3 5ページ 5
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	7ページ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	7ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする （「おやすみタイマー」で消灯すると「おやすみタイマー」はOFFされます）	8ページ 「おやすみタイマーの使いかた」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	3ページ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	8ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時にちらつく	調光動作をしている	調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に下記のⒶ～Ⓒの操作を行ってください。 Ⓐリモコンの「フタ」をスライドさせる Ⓑ「リモコン送信部」を器具に向ける Ⓒリモコンの「チャンネル確定ボタン」と「消灯ボタン」を同時に押す（「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。） ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、下欄の「上記の処置を行っても現象が続く場合」の②を行ってください。 また、記憶させていた点灯のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をしなおしてください。 	
「ピピッ ピピッ ピピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください	

上記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
②器具のチャンネルを変更する　8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中) にご相談ください。

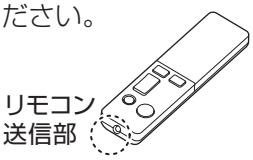
お手入れについて　安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、
定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。

●汚れがひどい場合は、
石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

●電池は半年を目安に取り替えてください。
◎付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、
半年に満たないうちに消耗する場合があります。



確認　シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●必ず壁スイッチを設けてください。
　・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
　・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
　・リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
　長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●他の機器（例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど）からでる赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様　保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
□ LGC2110V	AC100 V	50/60Hz共用	27.1W	リモコンOFF時(待機時状態)　1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.29A
□ LGC3110V			31.7W		0.33A
□ LGC4110V			35.9W		0.37A
□ LGC5110V			39.9W		0.41A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。） 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス　よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　　）　ー
お買い上げ日　　年　　月　　日

●保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	住宅用照明器具
●品　　番	上記「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット
〒571−8686　大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2019 - 2020
LGC2110V - T3A1　　N1019 - 010320